



## 会長挨拶

北海道高等学校養護教諭研究会  
会長 渡邊 祐美子  
(北海道石狩翔陽高等学校長)

北海道高等学校養護教諭研究会のWebページをご覧いただきありがとうございます。また、日ごろから本研究会に対しましてご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本研究会は1986年の設立以降、高等学校に勤務する養護教諭の資質向上を図るとともに、北海道の高等学校における学校保健の発展に寄与するための活動を続けて参りました。

学校は、子供たちが全人的な発達・成長を遂げ、将来的にも自らの生活をより良く生きていくための基盤を築く重要な役割を担っており、養護教諭には子供たちの心身の健やかな成長に大きく貢献することが期待されています。そのため、保健管理や健康相談等、幅広い分野でICTを活用した効果的・効率的な業務の推進に努め、肥満・痩身や生活習慣の乱れ、アレルギー疾患、感染症等の課題にも対応できる専門性を生かして、校内での発信力を強化し、学校経営に積極的に参画するとともに、他の教職員との連携により生徒への指導にも積極的に関わることが重要です。

養護教諭として教育的愛情を持ち、子供たち一人ひとりが、よりよい人生とよりよい社会の創り手となる力を身に付けられるよう、他の教諭等とは異なる専門性を有する教育職として一層の御尽力をいただきたいと思えます。

今後とも、次代を担う子供たちの健全な育成に向け、チーム養護教諭で互いを高め合い、共に学ぶ機会を提供して参りますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

